学校番号	327

令和８年度　国際教養科（国際文化科）

教科	国際教養	科目	中国語会話Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「中高版　しゃべっていいとも中国語」　（朝日出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語の発音と知識を身につけ、街にあふれる中国語圏の人々と中国語を通して交流することにより、隣国中国のことを知るために、授業の中だけでなく、日常のあらゆる場面で中国語を使ってみる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学習を通して言語知識に加え、国の文化、価値観や歴史的な知識・理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・学習した語彙や文法、表現を使って情報を理解したり、伝えたいことを表現したりできる。
【学びに向かう力、人間性等】・中国語を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な中国語の発音と知識を身につけ、話すことや書くことができる。また、会話だけでなく、中国に関する知識を身につけることができる。	中国語を使う場面において適切な表現を利用することができ、中国語を通して必要な情報や考えなどの概要や要点を理解できる。また、中国語を用いて文章などを作成し、それを用いて発表することができる。	積極的に第二外国語としての中国語に触れ、学び、会話をすることができる。また、中国語の背景にある文化に対する理解を深め、中国語を利用して主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第12課～第15課	2年次の復習 ～冊、～個、～台など量詞 動詞の重ね型(ちょっと～する) 時刻のいい方 変化を表す文末の「了」 動作の対象を表す前置詞「给」 ～できる、助動詞「可以」「能」	a:学習した表現を理解している。 b:学習した表現を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
2学期	第16課	動作行為の進行を表す表現 ～できる、助動詞「会」 中学校や1年生への出前授業 これまで学習してきた文型や単語を使って、中国語で実際に会話をする	a:学習した表現を理解している。 b:学習した表現を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
3学期	まとめ	生徒同士でいろいろな場面を想定した会話文を作成し、会話を行う	a:学習した表現を理解している。 b:学習した表現を用いて会話や発表を行うことができる。 c:積極的に授業に参加し、会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度